

はった

風薫る五月、「ゴールデンウィーク」で始まりました。気温は暖かく、夏日を記録する日も続きました。テレビ等では連日、混雑する空港の様子や鉄道ターミナル駅の混雑ぶり、行楽客でにぎわう各地の様子に加え、大渋滞の幹線道路の様子などが報道されていました。八田地域においてもこの期間に、家族旅行などを楽しまれた方々も多かったことと思います。また、農家にとっては野菜栽培や田植えなどで最も忙しくなるこの時期です。特に「ゴールデンウィーク」は兼業の方々にとっても、田耕しや代かき、田植えと作業を効率よく進めることができる期間でもあります。



周辺の田んぼには、トラクターや耕運機、そして田植え機などが行き交い、着々と作業が進められていました。畑には、ナス、キュウリ、トマトなど定番野菜の他、いろいろな野菜の苗が植えられ、色とりどりの袋も畑を彩り、収穫への期待が感じられます。この時期、サツキ、ツツジ、藤の花などが鮮やかに咲き誇り、草や木々の新芽も鮮やかさを増して、日々私たちの目を楽しませてくれています。こんな豊かな自然からたくさんの恵みをいただいていることに感謝しながら、充実した日々を過ごしたいものです。

田植え

5月5日、予約水稻苗受渡日（八田地区）

千原の農協営農育苗センター前には、今年も早朝から軽トラックの列が続いていました。苗の受け渡し開始は、午前8時からです。先頭の方にお話を伺うと、午前零時頃から並んでいるとのことでした。この光景は毎年目にするのですが、皆さん車中で読み物をしたり、外でよもやま話をしたり情報交換をしたりしているようです。また、カセットコンロを準備して、食事やコーヒータイムを楽しんでいる方もおられ、長い長い待ち時間を有意義に過ごしているようでした。皆さん一刻も早く苗を受け取り、予定通り田植えを進めたいという思いが感じられました。今年も豊作であることを期待しています。



【お詫びと訂正】

前回の広報「はった45号」でお知らせしました運営委員名簿の役職・氏名等の表記に間違いがありましたのでお詫びして訂正させていただきます。

鐘尾	協力委員	井上正弘
----	------	------

八田コミセンの事務職員さんが変わりました。前任の田中さんが退職され、5月より新しく森本尚美さんが着任されています。



花屋さんの店先

第20回
玉川兄弟写真展
5月24日～
6月18日
会場 八田コミセン

公民館だよりのお問い合わせは
浅田まで (☎93-0306)